



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月4日

上場会社名 株式会社 電響社

上場取引所 東

コード番号 8144 URL <https://www.denkyosha.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂田 周平

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部統括部長兼経理部長 (氏名) 栗嶋 裕充

TEL 06-6644-6711

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	45,341	12.4	1,460	217.6	1,990	115.0	1,381	112.8
2020年3月期第3四半期	40,344	9.1	459	9.2	925	11.6	649	12.3

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,373百万円 (171.8%) 2020年3月期第3四半期 1,155百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	226.55	
2020年3月期第3四半期	106.43	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	41,558	26,694	64.2
2020年3月期	34,539	24,564	71.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 26,694百万円 2020年3月期 24,564百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		20.00		20.00	40.00
2021年3月期		20.00			
2021年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,000	10.5	1,000	758.0	1,700	125.2	1,100	167.2	180.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.6「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	6,665,021 株	2020年3月期	6,665,021 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	564,850 株	2020年3月期	564,741 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	6,100,225 株	2020年3月期3Q	6,100,424 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により社会・経済活動が大きく停滞し、企業収益や景況感の悪化、個人消費の減退、節約志向の高まりやインバウンド需要の消失など、極めて厳しい状況で推移いたしました。

同感染症は、世界各地で依然として拡大が続いており、企業活動や経済活動が多大な制約を受けるなど、世界経済に深刻な影響を及ぼしております。

国内においては、5月に緊急事態宣言が解除されたものの、その後、第二波、それに続く第三波が押し寄せるなど、同感染症の収束時期は未だ見通せず、企業活動の在り方や生活様式、消費者の購買動向は大きく変化してまいりました。

当社グループの主要販売先である専門量販店等におきましては、実店舗でのインバウンド需要の消失に加え、同感染症の拡大防止のために休業を余儀なくされた店舗があった一方で、同感染防止対策商品や生活様式の変化による巣籠り関連商品等、新しい需要を取り込んだ店舗も多くありました。

また、コロナ禍による外出自粛などにより、消費者のECサイトでの購入割合がさらに増加してまいりました。こうした状況の下、当社グループにおきましては、消費者が求めている商品や生活様式の変化に対応する商品の発掘などを強化するとともに、同感染防止策の一環としてのオンライン商談会を新たに実施するなど、積極的な営業施策を推進してまいりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は453億4千1百万円（前年同期比12.4%増）となりました。

一方、利益面におきましては、売上総利益率の改善、並びに今般の社会情勢に対応しつつ販売費及び一般管理費全般の見直しを図ったこと等により、経常利益は19億9千万円（前年同期比115.0%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券評価損2千5百万円、固定資産除却損4百万円を特別損失に計上いたしました。13億8千1百万円（前年同期比112.8%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末比70億1千9百万円増加し、415億5千8百万円となりました。

これは主に、現金及び預金で22億2千1百万円、受取手形及び売掛金で46億9千7百万円、電子記録債権で1億1千3百万円、たな卸資産で1億8千6百万円それぞれ増加、その他の流動資産が8億5千7百万円減少したことなどにより、流動資産で63億6千万円増加、また、投資その他の資産の投資有価証券で14億2千1百万円増加した一方で、長期預金で6億2千5百万円減少したことなどにより、固定資産で6億5千8百万円増加したことによるものであります。

#### (負債)

負債につきましては、前連結会計年度末比48億8千9百万円増加し、148億6千4百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が29億3千5百万円、短期借入金で12億円それぞれ増加したことなどにより、流動負債で46億9千4百万円増加、また、繰延税金負債が3億6千5百万円増加した一方で、長期借入金が1億4千9百万円減少したことなどにより、固定負債で1億9千4百万円増加したことによるものであります。

#### (純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末比21億2千9百万円増加し、266億9千4百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益13億8千1百万円による増加があった一方で配当金の支払い2億4千4百万円があったこと、その他有価証券評価差額金の増加9億9千5百万円があったこと等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年11月6日に公表した2021年3月期通期連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2021年2月4日）別途開示いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,646	7,867
受取手形及び売掛金	7,087	11,784
電子記録債権	673	786
たな卸資産	4,639	4,825
その他	1,607	750
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	19,653	26,013
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,311	1,282
土地	1,880	1,880
その他（純額）	93	84
有形固定資産合計	3,285	3,248
無形固定資産		
のれん	294	271
その他	227	220
無形固定資産合計	522	491
投資その他の資産		
投資有価証券	3,895	5,317
貸貸固定資産（純額）	3,769	3,739
長期預金	2,825	2,200
その他	591	548
貸倒引当金	△3	△0
投資その他の資産合計	11,078	11,804
固定資産合計	14,886	15,544
資産合計	34,539	41,558

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,746	7,681
短期借入金	2,600	3,800
1年内返済予定の長期借入金	199	199
未払法人税等	178	461
引当金	195	84
その他	673	1,061
流動負債合計	8,593	13,288
固定負債		
長期借入金	416	266
退職給付に係る負債	215	205
その他	748	1,104
固定負債合計	1,381	1,575
負債合計	9,975	14,864
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,644	2,644
資本剰余金	2,560	2,560
利益剰余金	19,044	20,182
自己株式	△650	△651
株主資本合計	23,598	24,736
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	961	1,957
繰延ヘッジ損益	3	△0
その他の包括利益累計額合計	965	1,957
純資産合計	24,564	26,694
負債純資産合計	34,539	41,558

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	40,344	45,341
売上原価	33,588	37,135
売上総利益	6,755	8,205
販売費及び一般管理費	6,295	6,745
営業利益	459	1,460
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	90	87
仕入割引	570	623
投資不動産賃貸料	247	236
その他	81	85
営業外収益合計	993	1,034
営業外費用		
支払利息	7	7
売上割引	339	393
不動産賃貸原価	100	77
支払手数料	69	—
その他	11	27
営業外費用合計	527	505
経常利益	925	1,990
特別利益		
負ののれん発生益	54	—
特別利益合計	54	—
特別損失		
投資有価証券評価損	1	25
固定資産除却損	0	4
特別損失合計	2	30
税金等調整前四半期純利益	977	1,959
法人税等	328	577
四半期純利益	649	1,381
親会社株主に帰属する四半期純利益	649	1,381

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	649	1,381
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	505	995
繰延ヘッジ損益	0	△3
その他の包括利益合計	505	991
四半期包括利益	1,155	2,373
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,155	2,373

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。